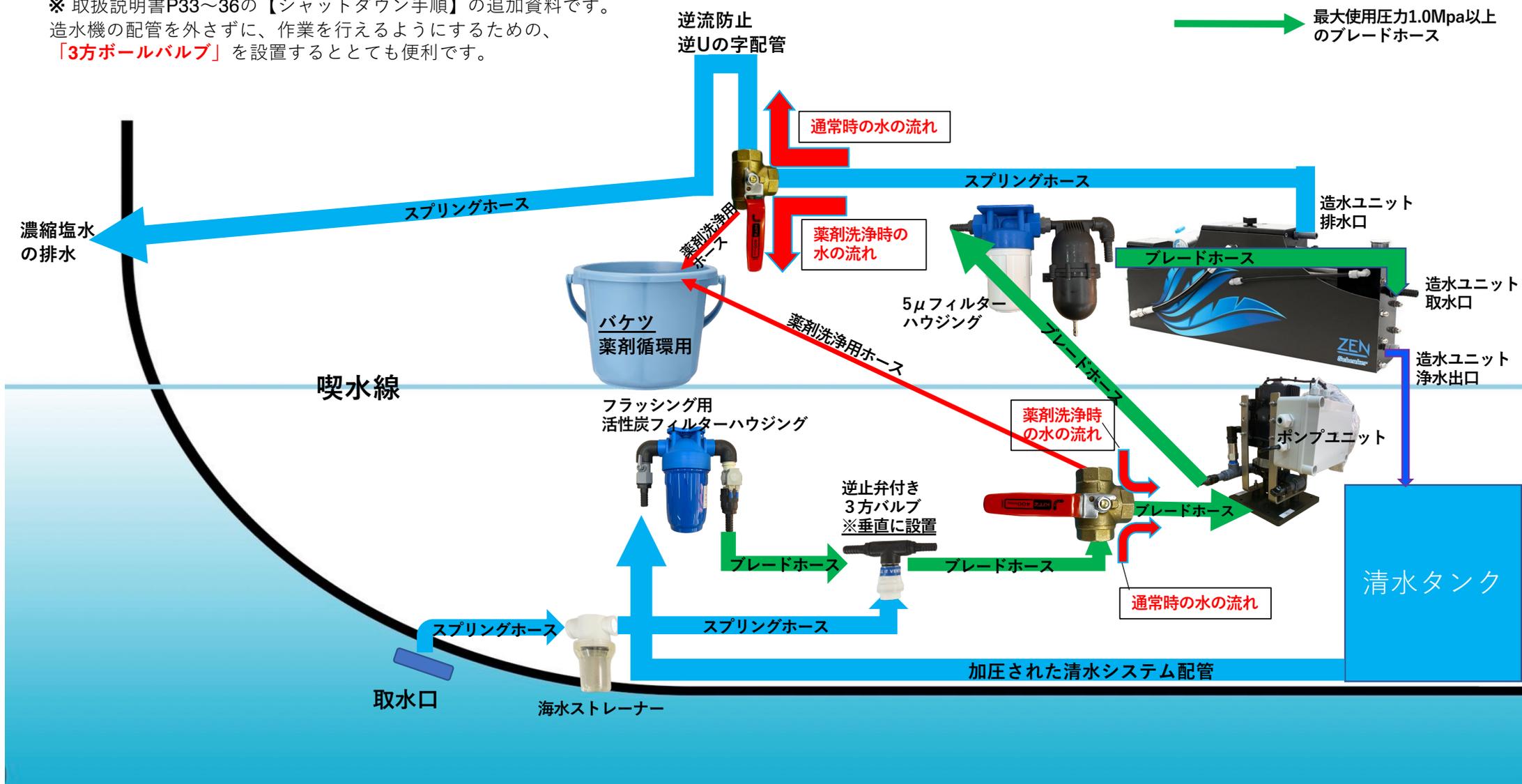


追加資料

ZEN30長期保管・薬剤洗浄作業を簡易化するための【配管分岐】について

※ 取扱説明書P33～36の【シャットダウン手順】の追加資料です。
造水機の配管を外さずに、作業を行えるようにするための、
「3方ボールバルブ」を設置するととても便利です。

- 最大使用圧力0.3Mpa以上のスプリングホース
- 最大使用圧力1.0Mpa以上のブレードホース



造水機ZENを上手に使用するためのPOINT

日常での使用上のPOINT

1. 造水機を使用して装置を停止する時は、**フラッシングボタンを押して停止**することがおすすめです。
→装置内部が真水洗浄され綺麗な状態が保たれます。
(1分間のフィルタリング後に装置は停止します)



- フラッシングで使用する真水の量
ZEN30→約 5 ℓ
ZEN50→約 9 ℓ

(取扱説明書ZEN30:P28～29、ZEN50:P28参照)

2. 最低でも2週間～1ヶ月に一度は造水機を稼働させてください。(※長期間装置を稼働させないと、装置内に溜まっている水が腐ってしまいます)

- 前回使用してから期間が空いて装置を使用し、浄水に匂いがある場合は、5～10分ほど通水して匂いが消えてから浄水を使用してください。→それでも匂いが消えない場合は、SC2で装置を薬剤洗浄してください。

(取扱説明書ZEN30:P28～29、ZEN50:P28参照)

定期的なメンテナンス

1. 海水ストレーナーに溜まったゴミを取り除く。
(頻度：約5日毎に確認)



(取扱説明書ZEN30:P32、ZEN50:P33参照)

2. 前処理フィルター交換 (頻度：約50～100稼働時間)
※交換頻度は原水によって大きく異なります。



ハウジングは左回転で開きます。

(取扱説明書ZEN30:P32、ZEN50:P33参照)

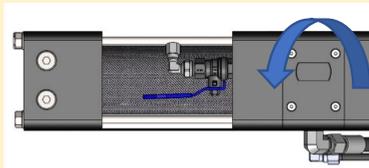
3. フラッシング用活性炭フィルター交換
(頻度：1年毎)



ハウジングは左回転で開きます。

(取扱説明書ZEN30:P32、ZEN50:P33参照)

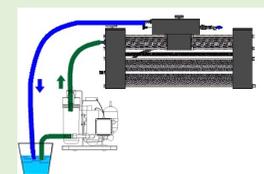
4. エア抜き (頻度：約15～20日に1度)



(取扱説明書ZEN30:P33、ZEN50:P34参照)

長期保管など

1. 数ヶ月以上使用しない場合は、バクテリアや菌の繁殖を防ぎRO膜を保護するSC1 薬剤洗浄を行なってください。(方法は取扱説明書ZEN30:P34～36、ZEN50:P 35～37を参照)



2. 浄水から異臭がする場合(数分間通水しても浄水から匂いが消えない場合)は、SC2薬剤洗浄を行なってください。(方法は取扱説明書ZEN30:P34～36、ZEN50:P 35～37を参照)

